

兵庫信用金庫と地域社会

ひろげましょう 心と心のおつきあい

◆ ひょうしんの地域貢献に関する考え方

当金庫は、姫路・神戸を中心に県下の瀬戸内沿岸地域を主な事業区域として、地区内の中小企業者や住民が会員となって、相互に助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の地域金融機関です。

当金庫は、経営理念の中に「地域社会に価値ある存在となろう」やビジョンとして「地域貢献度の高い金融機関」になることを掲げており、地元の中堅企業並びに地域の皆さまに対して、金融を通じた地域経済への貢献が使命であると考えております。特に、皆さまからお預かりした大切なご預金は、地元で資金を必要とする方々にご融資を行い、事業や生活の繁栄のお手伝いをする事で、地域経済の持続的発展に努めております。

今後も、本業である金融機能を介した資金や情報の提供のほか、地域社会の一員として文化面や環境保全などの地道な活動を通じて、地域の皆さまとの絆をより強いものにし、広く地域社会の活性化に貢献してまいります。

※計数は令和6年3月末現在

お客様からお預かりしている預金積金について

地域の金融機関として、お客様からお預かりしている大切な財産を安全・確実に運用し、地域の発展に努めてまいります。また、地域のお客様の資産づくりのお手伝いをするために新商品の開発やサービスの充実に向けて努力してまいります。

※当金庫で取り扱いしております商品については、「営業のご案内」をご覧ください。

■預金積金残高…………… 715,922百万円

お客様 / 会員

会員数：41,298名
出資金：2,418百万円

貸出金以外の運用に関する事項

融資以外の運用については、運用資産の安全性や流動性を重視し、そのリスクを十分把握した上で、収益性を高めるために有価証券投資や預け金の預入等を行っております。また、経済環境の変化や金利・株価・為替等の変動に対応した運用に努めております。

有価証券の期末運用残高は、前期比155億円増加して2,540億円となりました。

保有する有価証券と預金残高の比率(預証率)は、35.4%です。

■余資運用残高……………415,540百万円

※余資とは、預け金、コールローン、買入金銭債権、有価証券のことをいいます。

出資金

預金積金

ひょうしん

店舗数：40カ店
役職員数：486名

貸出金

支援サービス

今期の決算について

「顧客や地域から真に必要なとされる金融機関」の実現に向け、情報リレーション営業や伴走型支援に注力したものの、資金需要の停滞や新型コロナ関連融資の償還等により貸出金は伸び悩み、貸出金利息は減少しました。

しかしながら、堅調に有価証券利息配当金を確保したことに加え、業務効率化等により経費が減少した結果、当期純利益は18億円を計上することができました。

地域のお客様へのご融資について

お客様からお預かりしている大切な預金積金は、地元企業の健全な発展と地域社会の活性化を目的として還元しております。また、様々な事業資金や個人消費資金ニーズにお応えするため各地方公共団体の融資制度等を活用し、融資商品の拡充に努めてまいります。

※当金庫で取り扱いしております商品については、「営業のご案内」をご覧ください。

■貸出金残高…………… 314,177百万円

■預金積金に占める貸出金の割合… 43.88%

■貸出金残高の内訳

事業性資金…………… 214,582百万円

個人向け資金…………… 78,850百万円

地方公共団体向け資金… 20,744百万円

取引先へのご支援等について

当金庫は、地域に密着した金融機関として、地域の皆様に貢献することをめざし、財務面の問題はもとより、販路開拓、人材確保の支援及び事業承継等、お客様のライフステージに合わせた相談ニーズに幅広く対応できる態勢を整えております。様々な外部の専門機関とも連携を図りつつ、本部と営業店とが一体となってサポートに努めております。



「ひょうしん」はお客様との対話を通じてお客様本位の良質な金融サービスを提供いたします。